

当院における新型コロナウイルス感染症対策の 院内取り組みについて

小松ソフィア病院では、院内感染対策を徹底し、地域の皆さまに安心して受診していただける環境づくりを目指しています。また、感染委員会が常に院内を巡回し消毒設置及び在庫チェックなども行っております。



屋外テント設置

患者さんに安心して受診していただくために、発熱や咳などの症状がある患者さんは、一般の外来受診ではなく、発熱外来として屋外のテントにて受診していただきます。



エントランスでの検温と問診

エントランスでの問診、受付での検温により新型コロナウイルス感染の可能性が少しでも疑われる場合は、他の患者さんと接することが無いように、自家用車や専用の待合などでの待機をお願いしています。そのうえで医師が適切に対応しています。



飛沫防止の仕切りを設置

自覚症状のない患者さん同士もできるだけ密にならないようにしたり、職員との間にも透明の防護板を設置するなどの対策をしています。



定期的に消毒・除菌

空気清浄機を設置したり、不特定の方が触れる可能性のあるドアノブ、椅子や手すりなどの消毒を1日数回行なっています。



換気

病院の造りとして、常時空気が外に流れる建築になっており、換気を常に行っております。

なお、ご来院される方には以下の感染防止対策のご協力をお願いしております。



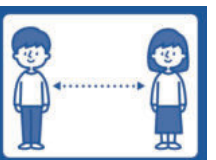
手指消毒



検温及び問診



マスクの着用



密を避ける

皆様に安心してご利用いただけるよう、ご協力をお願いいたします。

入院患者さんは各種検査にてコロナ感染の可能性を否定した上で
入院していただきます。